

TD 勉強会 情報 68

1. アジアの新興低運賃航空会社 エアーアジアの概要
2. エアー ニュージーランド航空とクアンタス航空、控訴へ
3. アマデウス e-トラベル アジア太平洋地区で顧客獲得
4. 米航空会社 連邦政府ディール改善模索
5. セーバー、ゲットゼアー ブランド破棄へ
6. アトランティックコースト航空 エアバス 25 機契約
7. アメリカウエストのダイレクト・コネクト予約システム
8. 米メジャー 国内線イールド微増 (10 月実績)
9. オンライン旅行社ビッグスリー 法人セールス本格化
10. プライスライン会長 ボイドとのインタビュー
11. エージェントショッパー (カナダ) 来年はじめ米国上陸
12. その他のニュース

1. アジアの新興低運賃航空会社 エアーアジアの概要

(1) 会社概要

3 ヶ月ももたないと揶揄されていた、アジア初の低運賃航空会社、AirAsia（マレーシア）の域内路線網拡大が続いている。来月 12 月には、Kota Kinabalu=Kuching 線と、初めての国際線 KUL=Phuket 線を開設する他、来年 2 月には、AirAsia の第 2 のハブである Johor Bahru から Bangkok の路線を立て続けに開設し、設立後僅か 2 年間で、220 万人を輸送するまでに成長している。

アジアの域内の本格的 LCC（Low Cost Carrier）は、この AirAsia を除いては、今のところ見当たらない。シンガポールで、元 SQ の会長 Lim Ching Beng が興した LCC、ValuAir が、A320（2 機）により来年 3 月の営業開始を計画しているが、路線は、域内 5 時間以内の路線と発表されているだけで、具体的な地点名は未だ明らかにされていない。

域内路線網の拡大に加え、AirAsia は、タイ最大の通信会社 Shin Corporation とのジョイントベンチャー AirAsia Aviation（AAA、資本金 400 バーツ=10.9 億円）を BKK に設立、タイ国内線への進出を計画している。（情報 66-10） BKK, Chaing Mai, Phuket, Hat Yai, Kon Kaen, Nakornachasima のタイ国内地点を B737-300（3 機）で結ぶ計画。初便は来年 1 月の予定で、AirAsia の 20%~30% の収入獲得を目指している。Shin Corporation は、51% の資本を獲得するものの、AAA の経営権は AirAsia が握る。（法人格はタイ法人であるが、どうやら AirAsia そのものによる運営となるようだ。）

AirAsia は、タイの他に、シンガポール、インドネシア、インドの南海岸への進出を狙っている。シンガポールでは、同国国立投資機関である Temasek Holdings Ltd とジョイントベンチャー設立の話し合いが持たれている。Temasek は、SQ の 56.8% の資本を保有し、また SQ は、リジョナル子会社 SilkAir を保有している。これらの競争相手となる新しい LCC の設立に、シンガポール政府は、慎重な姿勢を崩していない。

AirAsia のビジネス・モデルは、基本的には米 LCC 航空会社のコピーである。大きな成長が約束されているアジア域内航空輸送市場で、LCC 展開に先鞭をつけた AirAsia の今後の動勢に目が離せない。以下は、asia.com と、関連 Web 報道ニュースより入手した、大雑把な同社の概要である。

本社所在地	KUL International Airport
会社設立年月日	2001年12月12日
保有会社	Tune Air Sdu Bhd (69.25%の資本所有) Shin Corporation (タイ)が30%所有 (要確認)
運営会社	AirAsia Sdu Bhd
経営戦略	低運賃アジア域内航空輸送網の展開
社員数	948人 客室乗務員の定年は、男女とも55歳。 (MHなどのアジアの航空会社で一般的な、女性40歳、男性55歳定年の“性の差別”は、ここでは存在しない。)
フリート編成	B737-300 x 10機 機齢6年 2004年6月に、21機、年末までに30機に増機する計画
輸送旅客数	営業開始以来18ヶ月で2百20万人を輸送 2003年に3百20万人を輸送する計画
財務データ	非公開会社 (月2Mリンギ=57百万円以上の利益を上げているとの情報が有る。DBS Bank-シガポールと、Southern Bank-マレーシアから、航空機ファイナンスの為に、100Mリンギ=28億6千万円のブリッジ・ローンを受けている。)
路線網	KUL より14地点 Johor Bahru より7地点 Kota Kinabalu より3地点 } 計20地点

(2) 路線便数及び運賃

Airasia.com 検索日 11月21日

From/To Kuala Lumpur	Frequency/Day	Fare (One Way)	
Penang	8	9.99RM (注-1)	285円
Johor Bahru	4	19.99RM	571円
Alor Setar	4	29.99RM	858円
Kota Bharu	6	29.99RM	858円
Kuala Teregganu	4	29.99RM	858円
Langkawi	4	39.99RM	1,144円
Kuching	12	69.99RM	2,002円
Sibu	2	79.99RM	2,288円
Miri	4	79.99RM	2,288円

Labuan(ブルネイ)	2	79.99RM	2,288 円
Kota Kinabalu	10	99.99RM	2,861 円
Sandakan	2	109.99RM	3,147 円
Tawau	2	109.99RM	3,147 円
Phuket(タイ)	1(08Dec'03 期)	89.99RM	2,574 円
KUL より計	57		

From/To Johor Bahru	Frequency/Day	Fare (One Way)	
Kuala Lumpur (注-2)	4 (22Oct'03 期)	19.99RM	571 円
Penang	4	45.99RM	1,315 円
Kuching	4	49.99RM	1,430 円
Langkawi	4	49.99RM	1,430 円
Miri	4	79.99RM	2,288 円
Kota Kinabalu	4	89.99RM	2,574 円
Bangkok(タイ)	1 (02Feb'04 期)	99.99RM	2,861 円
Kotakinabalu=Kuching	1 (03Dec'03 期)	49.99RM	1,430 円
KUL 以外より計	26		
総合計	79		

(注-1) 11月29日 KULPEN、11月30日 PENKUL の旅程で Web 検索を実施すると、L Fare=62.49RM、U Fare=82.49RM、T Fare=97.49RM、Q Fare = 103.49RM、M Fare=112.49RM 5種類の運賃が表示される。L/U/T/Q/M Fares の詳細は不明であるが、単に、便のインベントリーの状況（空席状況=込み具合）に基づく運賃レベル別の名称のように思える。

(注-2) Johor Bahru=Kuala Lumpur 線は、先月、10月22日開設。Johor Bahru は、シンガポールの Senai 空港（Changi 国際空港西 14Km）を使用。Senai 空港は、AirAsia の乗り入れ助成策として、最初の 2 年間、着陸料を免除する。また AirAsia の本格的なオペレーション開始の為に、滑走路の延長が計画されている。AirAsia は、SQ と MH のドル箱路線 SIN=KUL 線の拡大を、虎視眈々と狙っている。

(シンガポールに於ける新しい LCC の設立に慎重なシンガポール政府が、SQ や Silk Air の潜在的競争相手となる AirAsia のために、自国の Senai 空港乗り入れ誘致策を採っているのは解せないところである。)

(3) 運賃規則など

● 運賃規則

上記の「(2) 路線便数及び運賃」の表内運賃は、予約期間 11 月 21 日から 12 月 03 日、旅行期間が 1 月 6 日から 31 日までの間に有効な運賃。 運賃は空席の多寡によりスライドする運賃で、空席の多い、より長い事前予約と週央便の運賃が安くなるシステム。 基本的には片道運賃のみ 1 種類の運賃構造で、払戻は効かず、予約変更は、便出発 48 時間まで可能であるが、50 リンギ (1,430 円) の変更手数料がかかる。 その他の運賃規則は存在しない、いたってシンプルな運賃構造を持つ。

● ティケットレス

全ての予約はチケットレスで紙の航空券は存在しない。 予約完了時点で、予約番号と旅程のプリントが旅客に渡される。 チェックイン時に予約番号と ID カードの提示が必要。

本格的なインターネット予約機能を備えている。

● ノーフリルサービス

機内食は有料で、Noodle=6.00 リンギ (172 円)、Soup=6.00 リンギ、Sandwich=5.00 リンギ (143 円)、飲物=3 リンギ (86 円)、プレミアム・コーヒー=4.00 リンギ (114 円)。

● モノクラス・フリーシーティング

エコノミー (148 席) のモノクラスで、座席指定は行われていない。

● 単一機種構成

B737-300 の単一機種構成で、クイック T/R タイムにより機材稼働の向上を高め、ユニット・コストの削減をはかっている。

● フィリクエント・プログラム

低運賃提供の為、コストが掛かる FFP は実施されていない。

(4) 機体外装などの写真



AirAsia staff in front of the new Boeing 737-300 at KLIA. CEO Tony Fernandes (second from left) is with (from left) Nazli Shah



このB737は、US Airwaysが使用していた中古機で、GE Capital Aviation Servicesから調達されたもの。機体には、“AirAsia.com”の他に、“go holiday”、“NOW EVERYONE CAN FLY”と書かれている。

(5) その他

AirAsiaのCEO Tony Fernandes（或るニュース報道ではカリスマ Fernandesと呼んでいる）は、米国型LCCのビジネス・モデルと経営手法を、域内航空需要の大きな成長が約束されているアジアにいち早く導入し、低運賃を武器に、域内ネットワークの展開拡大を狙っている。アジアは、人件費をはじめコストが安いため、より安いコストによる運営が可能である。従って、より低運賃の提供が出来る筈である。米国で、メジャーが新興LCCに駆逐され出しているように、アジアの航空輸送市場に於いても、同じようなことが起こるかも知れない、と考えるのは性急過ぎるのだろうか。アジアの保守性（？）と、自国機保護政策が、LCCの域内展開にブレーキをかけるのかも知れない。AirAsiaが、タイでは、タクシン首相のファミリー企業であるShin Corporationと組んで、ジョイントベンチャーを設立したように、強力な政治の“コネ”をバックに、LCC展開が進むのかも知れない。

マレーシアの国会議員筋は、先月、AirAsiaの安全性を問題視し、航空当局による安全性監査を要求している。

Asia Travel Tips, 20 November 2003

2. Air New Zealand And Qantas Appeal NZCC Decision

エアー ニュージーランド航空とクアンタス航空、控訴へ

NZ と QF は、先の New Zealand Commerce Commission (NZCC) の両社合併申請却下裁定について、11月20日、New Zealand 高裁へ控訴した。 NZ の会長 John Palmar は、「NZCC の決定は、多くの仮定と、精査されていない情報に基づき、航空市場の経済的現実を無視しているもので、納得できない」とコメントしている。

Asia Travel Tips, 18 November 2003

3. e-Travel Announces New Airline Wins In Asia Pacific

アマデウス e-トラベル アジア太平洋地区で顧客獲得

Air Pacific、EVA Air、Dragon Air の3社は、自社サイトの予約エンジンに、Amadeus の e-コマース部門の e-Travel Planitgo を採用する。 この3社の参加により、アジア太平洋地域での、e-Travel Planitgo 採用航空会社は9社となる。(3社 + 内際予約エンジンとして CX、PR、QF、TG、国際線 e-コマース・プレゼンスとして JL、KE)

Airlines: DTW (11/20/2003)

4. Airlines Propose Changes To City-Pair Program

米航空会社 連邦政府ディール改善模索

航空会社は、連邦政府の航空運賃大幅値引きディール要求に頭に来ている。 今月初め、航空会社は、2005 会計年度の連邦政府 Airline City Pair Program から、Walk-up 運賃値引きを削除し、その代わりに、払戻が可能なキャパシティー・コントロールに従った、割引事前購入運賃を提供するオファーを行なっている。 空席が僅かな時点では、連邦政府出張者（制服組であろうと文官であろうと）に、値引き無しのラースト・ミニッツ運賃の支払いを要求する。 連邦政府の出張旅行需要 (government travel) は、航空会社にとって最大の顧客で、果たして航空会社の意向が通るものか？ 14 日前事前予約に適用される運賃割引が、便出発 1 日前にも利用可能となるのであれば、航空会社のイールド・コントロールは目茶目茶にされてしまう、と航空会社弱りきっている。 現在、政府出張旅客のラースト・ミニッツ運賃割引率は、公示運賃比▲60%~▲70%にもものぼっている。

Business & Government Travel: DTW (11/20/2003)

5. Sabre's GetThere Brand Fading Away

セーバー、ゲットゼアー ブランド破棄へ

Sabre は、GetThere ブランドを無くし、Sabre の法人予約システムを、全て Travelocity Business ブランドに集中する。 フルフィルメント・サービスについては、今まで通り、TQ3 Travel Solution が受け持つ。 GetThere というブランド名がなくなるだけで、GetThere の法人予約のフル・サービス・オフリングは、継続して Travelocity Business の名前の下で販売される。

(数年前に\$757M=908 億円で買収した GetThere の ROI 評価は、一体どういうことになるのだろうか？ この記事を読んでも、ROI 評価は決して高いものではないような気がする。 ROI=Return On Investment)

Airlines: DTW (11/20/2003)

6. ACA: Independence Day Coming Soon

アトランティックコースト航空 エアバス 25 機契約

Atlantic Coast Airlines (ACA) は、11 月 19 日、Washington (Dulles 空港) を基地として新しく設立する LCC の航空会社名を、Independence Air と決定した。 このため、ACA は、エアバスから、A319 購入 (10 機)・A320 購入 (5 機)・A319 リース (10 機) の都合 25 機を調達する。 しかしながら、Mesa 航空が ACA の敵対買収計画に努力中で、ACA が LCC として完全に独立して羽ばたくかは依然として不透明。

Airlines: DTW (11/24/2003)

7. Am West's Sales Plan: Go Direct

アメリカウエストのダイレクト・コネクト予約システム

America West は、GDS を迂回する Web ベースのダイレクト・コネクト直販予約システムのテストを、10 社程度の旅行社と、来年 2 月に開始する。 このシステム展開のために、America West は、インセンティブや各種ベネフィットを揃えた、カフェテリア・スタイル

のプロモーション施策を検討している。例えば、このシステムを使用してくれる旅行社には、コミッション支払い、GDS インセンティブの補償、特別割引運賃の提供などが計画されている。NW は、既に、自社のダイレクト・コネクト直販予約システムを使用してくれる旅行社に、航空券当たり 5 ドルの報奨金を支払っている。AirTran は、同様に、ダイレクト予約に対して 5%コミッションを支払っている。DL は、ダイレクト予約システムを導入しているものの、インセンティブは付けていない。GDS 予約コストは、1 PNR 当たり、10 ドル~12 ドルに達しており、America West は、ダイレクト予約システムの導入により、このコスト削減を目論んでいる。

Airlines: DTW (11/21/2003)

8. Majors Record Minor Fare Increase In October

米メジャー 国内線イールド微増 (10 月実績)

Air Transport Association によると、メジャー国内線イールド 10 月実績は、前年同月比+0.3%の微増であった。上半期は、▲1.6%~▲5.3%減であったが、7 月+2.3%、8 月+5%、9 月+1.5%、先月 10 月+0.3%と推移している。夏場のピーク期終了後は、キャリアのイールド増が難しくなっている。国際線イールド 10 月実績は、大西洋+2.8%、ラ米▲0.2%、太平洋▲0.3%であった。なお、この国内線実績には、Southwest のデータが含まれていない。

Business & Government Travel: DTW (11/21/2003)

9. Big Three With Big Plans For A Big Accounts

オンライン旅行社ビッグスリー 法人セールス本格化

オンライン旅行社ビッグ 3 社、Expedia, Travelocity, Orbitz は、法人セールスを本格化、大手法人顧客の獲得に乗り出している。オンラインビッグ 3 のブランド名認知度は極めて高く、最近では、Orbitz が、Carlson Wagonlit から McDonald's を奪うなど、オフライン旅行社から顧客の争奪が繰り広げられている。知名度が高いブランド力に加え、セルフ予約ツールの使い勝手がきわめて簡単で、アダプション率の向上も期待されている。勿論、オンライン・トランザクション・フィー5 ドル (オフラインの場合は 20 ドル) の安いコストも普及に一役買っている。

10. In The Hot Seat: Jeffery Boyd

プライスライン会長 ボイドとのインタビュー

Q: Priceline は、新しいオペークでない航空予約サービスを大々的に売り出している。

Priceline は、総合的なオンライン旅行社に脱皮するのか？

A: そうではない。 ホテルとレンタカーのパッケージ・プロダクト（情報 67-5 既報）は、ベスト・プライスの提供に努力を傾注しているが、オペーク・エアー予約とトレードオフの関係にある。 航空運賃の指値（逆オークション）を実施しない顧客でも、今や Priceline で、パッケージの予約が出来る。 我々の調査によると、旅行の予約プロセスでは、通常、航空券の予約が最初に来る。 新しいサービスは、ホテルとレンタカーの販売チャンスを最大限に利用し、我々に収入増をもたらすだろう。

Q: 航空運賃の“指値”逆オークション・モデルが低迷している。 第 3 四半期の、このモデルの予約は、前年同期比▲40%も減少している。 何故？

A: リテール販売価格が大幅に低下している。 従ってオペーク運賃の購入のメリット（大幅価格セービング）が削がれている。 間際商品販売のようなものでしか、大幅な価格セービングの提供できなくなって来ている。

Q: ビジネス旅客の間で、優良ホテル廉価販売で Priceline の人気が高まっている、と聞いている。 ホテルからクレームが出て来ない？

A: Priceline の顧客のマジョリティーはビジネス旅客ではないと考えている。 我々の顧客の多くは、週末ステイを含むホテル予約をしている。 ビジネス旅客は、旅行プランの変更が常で、Priceline の払戻が効かない予約は、彼らには馴染まない。 そして我々の顧客の 90%は、ホテルのデータベースには載っていない顧客、即ちホテルにとっては追加的な顧客である。

Q: InterActiveCorp (IAC) が Hotwire を\$665 (798 億円) で買収した。 Priceline にも将来、同じようなことが起こるのか？

A: 我々は、市場の好位置に存在している。そして独立してやって行けるだけの資産を保有している。オンラインの領域では全てが利益を出しているとは限らないが、Priceline は利益を計上している。

Q: 最近の証券取引委員会への申請書類の中で、Priceline は、IAC 買収前の Hotwire にさえ市場シェアを奪われていると述べている。IAC 買収後では、更にシェアを奪われる？

A: 確かに、航空券販売では Hotwire にシェアを奪われている。Hotwire は NW 券の販売でシェアを伸ばしている。Priceline は NW を取り扱っていない。また Hotwire は、今年、航空券販売ビジネスに大きな広告宣伝費を注ぎ込んでいる。我々は実施していない。しかしながら、新しいエアー・サービスのために \$3M (3.6 億円) の宣伝費をかけて、シェアの挽回を計画している。

Agent Issues: DTW (11/24/2003)

11. AgentShopper To Launch In U.S. Early Next Year

エージェントショッパー (カナダ) 来年はじめ米国上陸

カナダの 2,600 の旅行社会員に、Web ベースの旅行予約ソリューションを提供している AgentShopper が、今度は米国旅行社向けプログラムを販売する。AgentShopper は、430 以上のサプライヤー・サイトとリンクし、会員旅行社に、このサプライヤー・インベントリーと、外国通貨・地図・目的地ガイドの情報を、来月より提供する。また、来年初めに利用可能となる Agent-Shopper Manager と呼ばれる CRM モジュールは、インボイス、バックオフィス・レポート、顧客の e メール・リストを処理することが可能。使用料は、デスクトップ当たり月額 \$24.95 (3 千円) で、ホーム・ベース・エージェンシーを含む米国の数千の旅行社を対象に販売される。AgentShopper の米国販売は、AgentWare や、最近 Nexion を買収して Jurni コンソーシアムの立ち上げを発表した Sabre と競合することになる。Sabre/Nexion のものは、そのバックに、古い GDS システムを使用しているのに反し、AgentShopper のものは新しいテクノロジーを使用していると、自分たちのシステムの競争力に、自信をちらつかせている。

12. その他のニュース

Hotel & Travel Index (HTI)は、全世界の 4 万軒におよぶホテルを網羅した **Official Hotel Guide** の最新版を発行した。このホテルガイドは、四半期毎の発行で、超デラックス・ホテル 112 軒をハイライトしている。その中には、Bellagio (Las Vegas), Four Seasons Hotel (Singapore), Ciragan Palace Hotel Kempinski (Turkey), Park Hyatt Melbourne (Australia) などが含まれている。(DTW 11/17/2003)

The National Tour Association (NTA) は、UA との契約を延長し、来年も有効とする。この契約により、NTA 会員旅行社は、座席ブロック利用時間の延長や、割引運賃利用が可能となる。(DTW 11/17/2003)

Hotels.com の共同創業者である David Litman と Bob Diener が、Hotels.com の CEO 及び President を退任する。退任後は、親会社の InterActiveCorp (IAC) のアドバイザーとなる。Hotels.com は、Diener と Litman により 1991 年に設立された。1,999 年に IAC に買収された後、IAC 色が強くなり、今回の、二入の創業者の退任に繋がった。両者は、夫々 IAC 株 850 万株を所有しており、5 年間の競争禁止条項 (non-compete clause) に縛られている。IAC は、Expedia、Hotels.com、及び最近買収した Hotwire などを中心とした IAC Travel の業界シェアをますます拡大し、世界一の旅行社を目指している。(DTW 11/18/2003 & 11/21/2003)

(11 月 24 日時点の IAC 株は、32.24 ドルをつけている。850 万株は、時価 3 億 2 千 8 百万円となる。最近の IAC 株は、7 月の高値 42.88 ドルより低下している。)

AIRIA Ltd は、11 月 19 日、Newcastle 国際空港 (英) からの Boeing Business Jet の特別便の機内で、BBC World News の放映に成功した。これは、衛生による TV 生中継で、既に長距離路線で使用されている、インマルサットの衛生電話システムの応用。Telenor (ノルウェー) と SPCI (カナダ) のテクノロジー・パートナーとの共同開発によるもの。(Asia Travel Tip 19 November 2003)

Singapore は、宇宙飛行士と同じ 6 G を体験できる、**G-Max Reverse Bungy** と言う、3 人乗りの冒険マシンを開発した。35 メートルの 2 つの鉄塔から弾性力の或るコードで吊り下げられたオープンエアのゴンドラで、時速 200 メートルで空に打ち上げられる遊戯的乗り物。5 分間の冒険搭乗には、30 シンガポールドル (1,895 円) が必要。(Asia Travel Tip 19 November 2003)

Starwood Hotels & Resorts は、超豪華リゾートとレジデンシャル・プロジェクト、Temenos Anguilla を、2006 年にオープンする。Temenos Anguilla は、Anguilla (西インド諸島東部 Leeward 諸島の英領の島) の Rendezvous Bay に建設される、リゾート 97 室と、20 の

住宅と、16 のオーシャンフロント・ビラから構成される。(DTW 11/20/2003)

UA は、9-11 直後の、同社のアラブ、中近東諸国、東南アジア、モスLEMの人々の差別的取扱い（搭乗拒否など）について、**DOT** と和解した。 和解の内容は、**UA** が向こう 2 年間に亘り、社員に人権教育を実施するというもの。 この教育に、**UA** は少なくとも \$ 1.5M (1.8 億円) の支出を余儀なくされる。 なお、**UA** は和解には応じたものの、差別的取扱いそのものについては、飽くまで否定している。 同様のケースを有する **AA** は、和解にも応じていない。(DTW 11/20/2003)

来年 1 月から、**latan ID Card** の年会費が、15 ドルから 20 ドルに値上げされる。 ただし、12 月 31 日までにカード更新を行なう場合は、15 ドル (1 年間有効) と 35 ドル (2 年間有効) の 2 つのオプションが与えられる。 また、6 ヶ月間有効の暫定カード (10 ドル) が新設される。(DTW 11/20/2003)

America's Affluent Research Center の Fall 2003 Survey によると、アメリカ人の富裕層の 33%が、来年、国内旅行により多く出費すると言っている。 より少なく出費と回答したのは 11%であった。(DTW 11/20/2003)

TD 勉強会 情報 68 (以 上)